

よくわかる！

病害虫防除  
マニュアル  
いちご編

そーだ、  
にほんそーだに  
そーだんしょう！



日本曹達株式会社



# いちご仮植床での早めの防除が、本圃防除を助ける!日曹の製品がお役に立ちます。

[ ] RACコード  
ハウスで使用  
するくん煙剤

## 育苗期の病害には…

適用病害名	製品名	希釈倍数	使用時期/使用回数	その他の適用病害
炭疽病	ベルコート水和剤(M7)	1000倍	育苗期(定植前)/5回	うどんこ病
	ベルコートフロアブル(M7)	1000倍	育苗期(定植前)/5回	うどんこ病
	ゲッター水和剤(10,1)	1000倍	収穫開始21日前/3回	—
	ファンタジスタ顆粒水和剤(11)	2000倍	前日/3回	灰色かび病(2000~3000倍)
	ファンベル顆粒水和剤(M7,11)	1000倍	前日/3回	—
輪斑病	ベルコートフロアブル(M7)	1000倍	育苗期(定植前)/5回	うどんこ病
	トリフミン水和剤(3)	3000倍	前日/5回	じゃのめ病
疫病	ピシロックフロアブル(U17)	500倍	開花前まで/2回*	—

\*使用量、使用方法: 50~100ml/株 灌注(開花後は使用しない)

## 生育期の病害には…

適用病害名	製品名	希釈倍数または使用量	使用時期/使用回数	その他の適用病害
灰色かび病	ファンベル顆粒水和剤(M7,11)	1000倍	前日/3回	—
	フルピカフロアブル(9)	2000~3000倍	前日/3回	—
	カンタストライフロアブル(7)	1000~1500倍	前日/3回	—
	ハーモメイト水溶剤*1(NC)	800倍	前日/—	—
	ベルコートフロアブル(M7)	2000倍	前日(生育期)/5回	炭疽病
	フルピカくん煙剤(9)	50g/500m <sup>3</sup>	前日/3回	—
うどんこ病	ファンベル顆粒水和剤(M7,11)	1000倍	前日/3回	—
	パンチョTF顆粒水和剤(U6,3)	2000倍	前日/2回	—
	ベルコートフロアブル(M7)	2000~4000倍	前日(生育期)/5回	炭疽病
	ハーモメイト水和剤*1(NC)	800倍	前日/—	—
	フルピカフロアブル*2(9)	2000~3000倍	前日/3回	—
	トリフミン水和剤(3)	3000~5000倍	前日/5回	じゃのめ病(3000倍)
	パンチョTFジェット(U6,3)	50g/400m <sup>3</sup>	前日/2回	—
	トリフミンジェット(3)	50g/400m <sup>3</sup>	前日/5回	—
	フルピカくん煙剤(9)	50g/500m <sup>3</sup>	前日/3回	—
黒斑病	ベルコートフロアブル(M7)	2000倍	前日(生育期)/5回	炭疽病

\*1: 野菜類登録 \*2: 常温煙霧登録あり

## 仮植床のコガネムシ類幼虫に…

**カルホス<sup>®</sup> 微粒剤F**  
(1B)

使用量/9kg/10a  
使用回数/1回  
使用方法/土壌表面散布  
土壌混和処理



## 仮植準備

## 本圃定植準備

## 育苗期

## 定植時 または マルチ前

## マルチ ビニール 被覆

## 生育期 (本圃での散布)

## 収穫期

## 土壌病害には…

## 育苗期・定植時の害虫には…

## 定植時・マルチ前の害虫には…

## 生育期の害虫には…

### バスアミド<sup>®</sup> 微粒剤

使用時期/仮植または  
定植21日前まで  
使用回数/1回



適用病害名など	使用量	使用方法
萎黄病、萎凋病、炭疽病、芽枯病、一年生雑草	20~30kg/10a	所定量を均一に散布後土壌と混和
青枯病、疫病	30kg/10a	

### ベリマーク<sup>®</sup> SC

使用時期/育苗期後半~定植当日  
※育苗期後半  
使用回数/1回



適用害虫名	希釈倍数	使用量	使用方法
ハスモンヨトウ	1000倍	25~50ml/株※	灌注
アザミウマ類		50ml/株	
コナジラミ類		25~50ml/株	
コガネムシ類			

### モスピラン<sup>®</sup> 粒剤

(4A)  
■定植時、植穴土壌混和 または  
■定植後、マルチ被覆前株元散布



適用害虫名	使用量	使用時期/使用回数	使用方法
アブラムシ類	0.5g/株	定植時/1回	株元散布
アブラムシ類	0.5~1g/株	生育期(定植30日後まで)ただし、マルチ被覆直前まで/1回	
アブラムシ類	0.5~1g/株	定植時/1回	植穴土壌混和
コナジラミ類	1g/株		



適用害虫名	製品名	希釈倍数または使用量	使用時期/使用回数	その他の適用害虫
アブラムシ類	モスピラン顆粒水溶剤(4A)	2000~4000倍	前日/2回	カキ/ヒメコバイ(2000~4000倍) チバクロバネキ/コバエ(2000~4000倍)
	マブリックジェット(3A)	20g/400m <sup>3</sup>	前日/2回	—
	モスピランジェット(4A)	50g/400m <sup>3</sup>	前日/2回	—
ミカンキイロアザミウマ	モスピラン顆粒水溶剤*3(4A)	2000倍	前日/2回	カキ/ヒメコバイ(2000~4000倍) チバクロバネキ/コバエ(2000~4000倍)
	コテツフロアブル(13)	2000倍	前日/2回	シクラメンホコリダニ
	モスピランジェット*3(4A)	50g/400m <sup>3</sup>	前日/2回	—
ハダニ類	ダニオーテフロアブル(33)	2000倍	前日/2回	—
	コテツフロアブル(13)	2000倍	前日/2回	ミカンキイロアザミウマ、シクラメンホコリダニ、ハスモンヨトウ
	ピラニカEW(21A)	2000~3000倍	前日/2回	アブラムシ類(2000倍)、うどんこ病(2000倍)
	ニッソラン水和剤(10A)	2000~3000倍	前日/2回	—
	マブリックジェット(3A)	20g/400m <sup>3</sup>	前日/2回	—
コナジラミ類	テルスタージェット(3A)	48g/400m <sup>3</sup>	前日/2回	—
	モスピラン顆粒水溶剤(4A)	2000倍	前日/2回	カキ/ヒメコバイ(2000~4000倍) チバクロバネキ/コバエ(2000~4000倍)
ハスモンヨトウ	コテツフロアブル(13)	2000倍	前日/2回	シクラメンホコリダニ
	フェニックス顆粒水和剤(28)	2000~4000倍	前日/2回	—
オオタバコガ	ロムダンフロアブル(18)	2000倍	前日/2回	—
	フェニックス顆粒水和剤(28)	2000~4000倍	前日/2回	—

\*3: アザミウマ類登録

## TOPIC 1

### トップジンM<sup>®</sup> 水和剤

#### ■萎黄病防除には…

希釈倍数/300~500倍  
使用回数/3回  
使用時期/①仮植前 1時間苗根部浸漬  
②仮植時及び仮植栽培期 3ℓ/m<sup>2</sup>灌注

#### ■本圃でのうどんこ病にも!

希釈倍数/1500倍  
使用時期/収穫開始21日前(収穫開始後は使用しない)



## TOPIC 2

### ミツバチに対する影響日数

種別	薬剤名	安全日数	種別	薬剤名	安全日数	種別	薬剤名	安全日数
殺菌剤	カンタストライフロアブル	影響なし	殺虫剤	コテツフロアブル	10日	くん煙剤	テルスタージェット	3日
	ゲッター水和剤	影響なし		ニッソラン水和剤	影響なし		トリフミンジェット	1日
	ストロビーフロアブル	影響なし		ダニオーテフロアブル	影響なし		パンチョTFジェット	1日
	トップジンM水和剤	影響なし		ピラニカEW	1日		フルピカくん煙剤	翌日導入可
	トリフミン水和剤	影響なし		フェニックス顆粒水和剤	1日		マブリックジェット	3日
	パンチョTF顆粒水和剤	影響なし		ベリマークSC	1日		モスピランジェット	1日
	ハーモメイト水溶剤	影響なし		モスピラン顆粒水溶剤	1日			
	ファンタジスタ顆粒水和剤	影響なし		モスピラン粒剤	1日			
	ファンベル顆粒水和剤	影響なし		ロムダンフロアブル	影響なし			
	フルピカフロアブル	影響なし						
ベルコートフロアブル	影響なし							

\*影響なし: 薬剤が乾けば導入可能  
\*翌日導入可: 散布翌日の導入可能  
\*日数記載: 記載の日数以上あけてから導入が可能





# いちご病害虫図鑑

## 病害

### 【萎黄病 *Fusarium oxysporum* f. sp. *fragariae*】

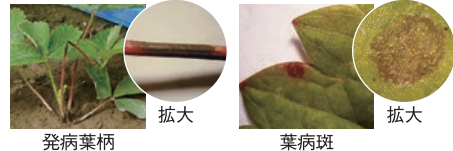
土壌に残った病原菌が長期間生存して伝染源となる。次期作の苗が植えられ、根や傷口から侵入して感染する。また、病原菌は、ランナーを通じて株伝染する。新葉が黄緑色となり、3小葉のうち1~2葉が他の小葉と比べて小さくなる。株全体の生育は不良となり、枯れることが多い。



新葉が他の葉より小さくなる 新葉の黄化・奇形 維管束の褐変  
適用薬剤 バスアミド微粒剤、トップジンM水和剤

### 【炭疽病 *Colletotrichum acutatum* など】

株に潜在感染している病原菌と土壌中に残った発病葉上の病原菌が、伝染源となる。次期作では、そこに生じた胞子が土はねに伴い飛散して伝染する。葉柄やランナーに楕円形のやや窪んだ黒褐色病斑を生じる。葉には円形の淡褐色病斑を生じる。



発病葉柄 拡大 葉病斑 拡大  
適用薬剤 ヘルコートフロアブル、ゲッター水和剤 など

### 【疫病 *Phytophthora cactorum* など】

地際部(クラウン)から生じた根の基部が外面から中心部に向かって褐変し、進展すると根の中心部が赤褐色、地上部の萎凋が見られる。



発病葉 発病茎  
写真提供: 栃木県農業環境指導センター  
適用薬剤 ビシロックフロアブル

### 【灰色かび病 *Botrytis cinerea*】

圃場に残った発病葉・発病果上の病原菌や、地表面に菌核として残った病原菌が伝染源となり、次期作ではそこから胞子が飛散して伝染する。果実や葉や葉柄にも灰色のかびを密生した病斑を生じる。



初期病斑 発病果(初期)  
適用薬剤 ヘルコートフロアブル、フルピカフロアブル など

### 【うどんこ病 *Podosphaera aphanis* var. *aphanis*】

親株から子苗に伝染し、周年いちご間で伝染し合う。果実、葉、葉柄などにうどん粉状の病斑を生じる。やや乾燥した条件で発生しやすい。



発病果(初期) うどん粉状の白色かびを生ずる 発病した果実と果梗 発病葉裏  
適用薬剤 トリフミン水和剤、バンチョYF顆粒水和剤 など

### 【輪斑病 *Dendrophoma obscurans*】

圃場に落ちた発病葉やランナーが伝染源。葉に紫赤色の斑点を生じる。斑点の中心部はやや色が薄い。



炭疽病と似た病徴  
適用薬剤 ヘルコートフロアブル、トリフミン水和剤

## 害虫

### 【ワタアブラムシ *Aphis gossypii*】

葉や果実からの吸汁により、生育が抑制。果実に寄生すると品質低下を招き、ウイルス病を媒介する。



幼虫(体長1mm) 成虫(体長1.5mm) ワタアブラムシによる被害葉  
適用薬剤 モスピラン顆粒水溶剤 など

### 【オンシツコナジラミ *Trialeurodes vaporariorum*】

幼虫および成虫の葉からの吸汁により、生育が抑制。排泄物によって、すす病が発生する。



卵(長径0.25mm) 蛹(体長0.8mm) 成虫(全長1.5mm) および1齢幼虫(体長0.3mm) オンシツコナジラミが寄生した葉  
適用薬剤 モスピラン顆粒水溶剤 など

### 【ミカンキイロアザミウマ *Frankliniella occidentalis*】

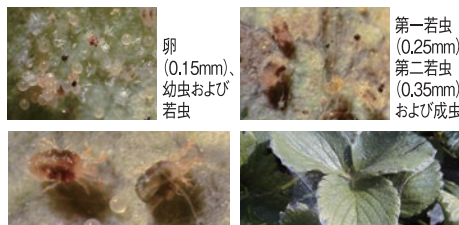
幼虫および成虫の加害により、果実の黄化や褐変が生じる。



幼虫(体長1.0mm) 成虫(体長1.5mm) 成熟果の被害(種子周辺の黄化)  
適用薬剤 ペリマークSC、コテツフロアブル など

### 【ナミハダニ *Tetranychus urticae*】

加害により葉の表面に白点を生じ、増殖すると葉全体が退色して、株の生育が抑制される。



卵(0.15mm)、幼虫および若虫 第一若虫(0.25mm)、第二若虫(0.35mm) および成虫 成虫(体色の濃い個体) 被害葉(クモの巣状の網)  
適用薬剤 ダニオーテフロアブル、コテツフロアブル など

### 【ハスモンヨトウ *Spodoptera litura*】

幼虫により、葉が食害される。



卵塊(卵径0.5mm) 若齢幼虫(体長4mm) 中齢幼虫(体長10mm) および老齢幼虫(20mm) 雄成虫(前翅長18mm) 中齢幼虫による被害葉  
適用薬剤 ペリマークSC、フェニックス顆粒水和剤 など

### 【オオタバコガ *Helicoverpa armigera*】

幼虫により、葉や果実が食害される。



若齢幼虫(体長5mm) 中齢幼虫(体長10mm) 老齢幼虫(体長25mm) 成虫(前翅長18mm)  
適用薬剤 フェニックス顆粒水和剤

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届くところには置かないでください。